

【防災・安全・環境・エネルギー】

第5回審議会に提示した重点項目・継続項目

重点項目

- ①まちのレジリエンスを向上させるため、ハード・ソフトを整える。
- ②(ハード)交通基盤を中心として、災害に強い環境の整備やダイバーシティ社会としての災害対策を対応を行う。
 - 例: バリアフリー化とガイドサインのダイバーシティ対応
- ③(ソフト)民間企業のノウハウ活用を含め、新たな「共助ネットワーク」を開発・提案する。
 - ICT企業と連携したインフラ整備等
 - NPOとの連携・支援
- ④(ソフト)防災・防犯を含めた都市全体のレジリエンスに対して親近感をもって取り組める仕組みを整える
 - ゲームやシミュレーションを通じた防災への備え
 - 楽しい「防災教育」「エコロジー教育」の仕組み開発

継続する項目

- ★リサイクル文化の創造(リサイクルの促進)
- ★自然環境と緑の保全・整備
- ★優れた都市景観の形成(開発にかかる指導(緑地)の充実)
- ★安心して暮らせる生活環境の整備(環境浄化、防犯対策の充実、テロ対策を含む。)

第5回審議会での議論

- ・ 防災について、災害が起こる前と後の議論がとても大切である
- ・ 重点項目の中に、防災の人材育成、リーダーの育成について記載いただきたい
- ・ 地区特性を踏まえた防災教育を何らかの形で推進していく方向性を示してもらいたい
- ・ 減災にも役立つので、渋谷の中の緑・公園等の確保はもう少し強調したほうがよいではないか
- ・ 省エネを徹底することでCO2の排出が抑えられて気候変動の緩和という環境貢献できるため、その点について、しっかりやっていくことが重要ではないか
- ・ 「今までばらばらに考えてたことを一緒に考える」ことが重要であり、住宅・ビルの一層の省エネを推進することが、CO2の削減につながって、環境貢献に、さらに、住んでる人の健康状態が良くなって、疾病予防、介護予防につながるのではないかと。

基本構想(ビジョン・目指す姿)方向性案

- ・ 災害時に被害が拡大しないよう、事前の環境やソフト面(知識・共助ネットワークなど)の整備に官民一体となって取り組む
- ・ 災害が起こった際の帰宅困難者への対応や迅速な復旧に取り組める体制と環境を整備する
- ・ 災害への対策を日常的な習慣として浸透させる
- ・ システムの整備と人のつながりの両面から防犯を捉えて、安心して過ごせるまちにする
- ・ 良好な環境維持のためにモノ・資源を大事にすることを推進する

20年後のビジョンに向けた、
10年後の長期計画へ体系化

長期基本計画カテゴリ別施策体系案

【防災・安全・環境・エネルギー】の目標・基本方針的なもの

自助、近助、共助、公助の連携による防災対策の推進

重点!

①地域防災力の向上

- ・ 防災のための共助ネットワークの整備
- ・ 災害時の応援協定の推進
- ・ Wi-Fi環境の区内全域への整備・普及
- ・ ICTを活用した災害時の情報提供システムの整備
- ・ 来街者も含んだ参加体験型防災訓練の実施
- ・ 自主防災組織の育成等の推進

②災害に強いまちづくりの推進

- ・ 災害時医療体制の充実
- ・ 本部要員等の確保および防災活動の一元化
- ・ 情報収集・伝達手段の強化(ドローンの活用・防災無線の改良等)
- ・ 公共施設・民間建築物の耐震性の向上(緊急輸送道路周辺等)
- ・ 木造密集地域における都市基盤の整備促進
- ・ 防災拠点・施設の整備
- ・ 避難所運営体制の強化
- ・ 食品・生活必需品等(ペット用含む)の備蓄の充実
- ・ 業務継続計画(BCP)の策定
- ・ 総合的な防災対策の推進

③帰宅困難者対策の推進

- ・ 帰宅困難者施設の整備・充実(条例に基づく帰宅困難者施設設置等)
- ・ 区内帰宅困難者対策協議会との連携強化
- ・ ICTの活用による帰宅困難者向け情報共有サービスの整備

まちの安全確保と快適性の向上

①区民や来街者の安全・安心の確保

- ・ 区内全域をカバーできる防犯システム(防犯カメラ等)の導入
- ・ 公共の場における客引き行為等の防止の啓発
- ・ 地域の見守りによる防犯の推進

②快適な生活環境の整備

- ・ 分煙対策の推進
- ・ 落書き対策の推進
- ・ オリンピックを契機としたごみ対策に関するレガシーの創出
- ・ ビルの緑化・都市施設スペースにおける緑化の推進
- ・ 生活環境の保全(大気環境の測定、騒音、振動、悪臭などへの対策強化)

③緑と水辺空間の創出

- ・ 魅力的で質の高い緑の創出
- ・ 玉川上水緑道・渋谷川の再整備

循環型社会と環境未来都市の実現

重点!

①分別の徹底と3Rの促進

- ・ リデュース・リユースを軸とした3R(発生抑制(Reduce)・再利用(Reuse)・再生利用(Recycle))への意識改革
- ・ 事業系ごみ対策の強化
- ・ 食品ロスの削減

②低炭素型都市の実現

- ・ 地球温暖化対策・省エネルギー対策(HEMS・BEMSへの誘導等)
- ・ 再生可能エネルギーの活用(太陽エネルギー等)
- ・ 低炭素まちづくり(地域冷暖房等)
- ・ 水素社会への取組(燃料電池自動車や家庭用燃料電池の普及等)
- ・ 環境教育の推進

【空間とコミュニティのデザイン】

第5回審議会に提示した重点項目・継続項目

重点項目

- ① 渋谷区全域を俯瞰し各地域を戦略的に位置づけて、計画・ブランディング・運用を協働して行う（エリアデザイン、エリアマネジメント）
 - 地域ごとのコンセプト策定による地域活性化
 - コミュニティイベントの支援
 - エリアマネジメントの活動
- ② ファーストピープル（区民）だけでなく、セカンドピープル、サードピープルが積極的に参加したくなる仕組みづくり
 - セカンドピープル・サードピープルの区の進展への協力を促す仕組み作り
 - コミュニティ情報の共有プラットフォーム（メディア化）
- ③ 公共空間を活用して、アクティビティ等を通じてコミュニティ創造と魅力的なまちづくりを促進
 - コミュニティづくりのコーディネーターの育成
 - 象徴的なコミュニティイベントの開発と実施

継続する項目

- ★ 交流・社会参加機会の充実支援
- ★ 優れた都市景観の形成（公共空間の景観の向上）
- ★ 安心して暮らせる生活環境の整備（公園・広場の整備等）

第5回審議会での議論

- セカンドピープル、サードピープルが積極的に参加したくなる仕組みづくりは、まちづくりの項目か、別の項目なのか、明確にすべき
- 新しく入ってきたマンションのコミュニティにいる方と地域に元々住んでらっしゃる方をどう連携させてまちづくりをしていくかという視点が大切ではないか
- 民泊について、渋谷はその目玉になってくると思うので、地域外の人を地域の方がどう受け入れるのか、その体制づくりが急務である
- 地域のチームビルディングをまちづくりの一つ重要な軸として捉えていく必要がある
- 「エリアマネジメント」のイメージがつきにくい
- コミュニティづくりのコーディネーターの育成について、既に様々なコーディネーターが存在しており、まちづくりの特徴をどう出すのが重要
- 福祉のまちづくり、福祉でまちづくりという視点からの整理も必要ではないか
- そもそもまちづくりとはなにか、それがほかとどう差別化できるかということをも明らかにしてほしい

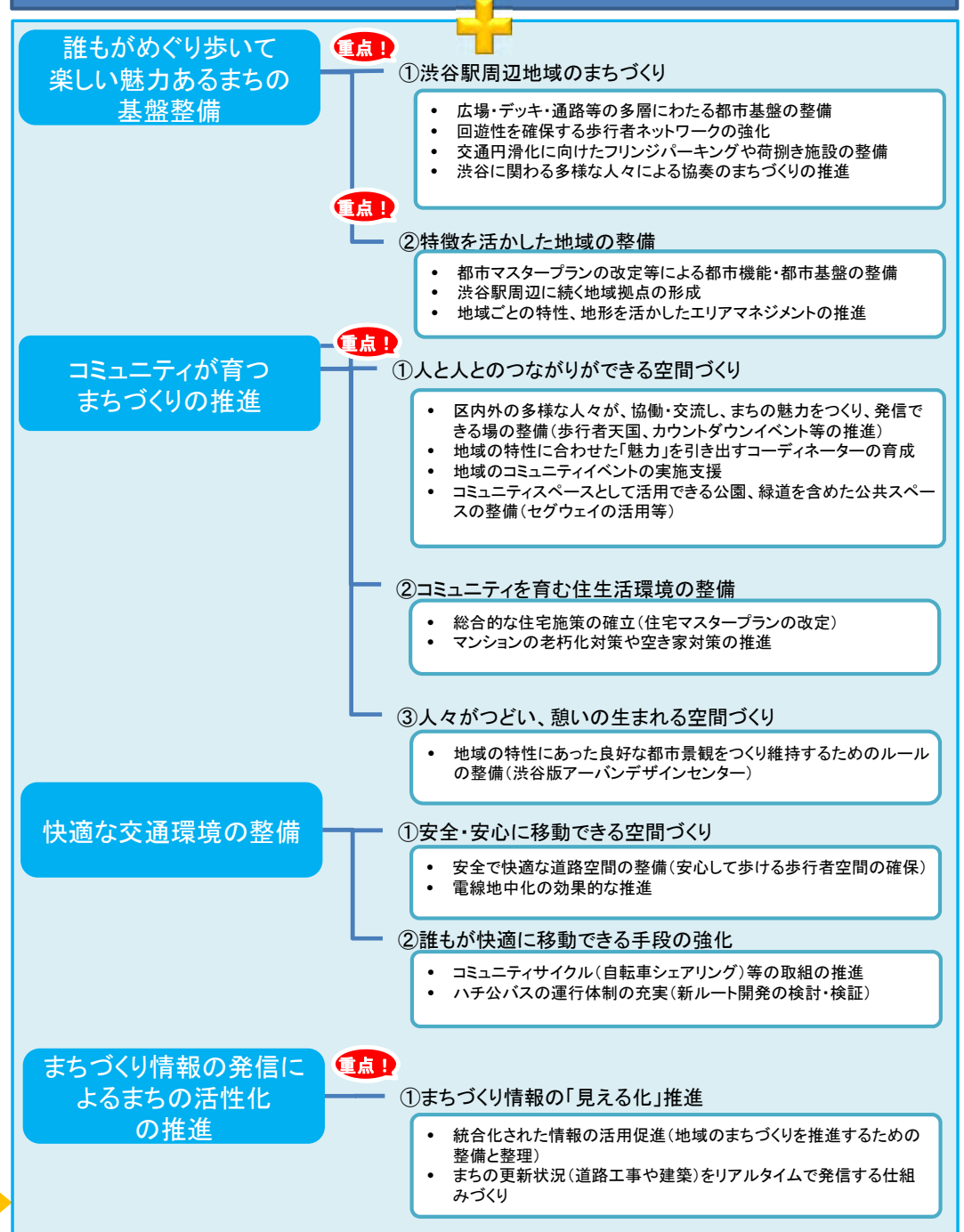
基本構想（ビジョン・目指す姿）方向性案

- 大規模再開発が進む渋谷駅周辺とその周囲に広がる地域を、地域ごとの魅力が最大限生きるように、官民の連携やコミュニティの力を活用する
- 在住者だけでなく渋谷区に関わるあらゆる人がまちづくりに参加でき、参加者から見える形でまちづくりが共有できるように整備する
- 公共空間を活用して地域の魅力や人々の交流を促進する
- 安心して暮らせる住環境や都市景観や、誰もが安全に移動できるまちや交通を整備する

20年後のビジョンに向けた、
10年後の長期計画へ体系化

長期基本計画カテゴリ別施策体系案

【空間とコミュニティのデザイン】の目標・基本方針的なもの



【産業振興】

第5回審議会に提示した重点項目・継続項目

重点項目

- ① 渋谷の歴史的背景に準拠した産業を集積させる。
 - ファッション、アパレル産業を集積させ中心地となることを促進し、世界の中心地を目指す。
 - ICT産業の集積を促進。
- ② スタートアップベンチャーを積極的に支援する。
- ③ 個人事業・スモールビジネスにおける日本一の実験場を目指す。
 - 例) パッケージレンタル等新しいモデルケース検証

継続する項目

- ★ 中小企業の振興(商店街への支援と振興など)

第5回審議会での議論

- 商店街が壊れると街が壊れるので、例えば福祉でまちづくりといった視点で商店街活性化を進めて行くなど、様々なアイデアを積極的に提案していく必要があるのではないか
- 地場でビジネスをさせていच्छる方をどう支援してかということを全面に出すことが必要ではないか
- 産業振興は、様々な分野と関連があり、どこまでを産業振興のカテゴリで記載するかは整理が必要ではないか
- 大企業と中小企業や商店街との間に行政が入り、連携を図っていくことが重要ではないか
- ハチ公をブランドにしていけば、産業が活性化するのではないか

基本構想(ビジョン・目指す姿)方向性案

- 起業を積極的に支援し、新しいビジネスが起こしやすく育ちやすいチャンスにあふれたまちとなるような環境整備や支援を行う
- 渋谷が歴史的に強みをもつ産業をはじめとする企業の集積を促進する
- 中小企業等のスモールビジネスの挑戦を支え、多様なニーズに応える様々なイノベーションが生まれやすい環境を整備する
- 商店街等、渋谷区の地域に根ざした産業を振興し、基盤強化だけでなく、まちの魅力づくりやコミュニティ強化も推進する

20年後のビジョンに向けた、
10年後の長期計画へ体系化

長期基本計画カテゴリ別施策体系案

【産業振興】の目標・基本方針的なもの

